

施策 0401 安全な暮らしの確保

■施策をとりまく環境の変化

交通事故や犯罪が増加傾向にあり、これらを未然に防ぎ、また、まちの衛生・美観を損なうことを防止し安全で衛生的な暮らしを確保することの必要性が高まっています。街路灯の整備などハード面での対策と交通安全・防犯意識の高揚といったソフト面での対策の両方の充実が求められています。

■施策の目的

市民の安全意識を高めることで事前に事故や犯罪を防ぎ、また衛生面での改善を図ることで、安全で衛生的な暮らしを確保します。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

家庭や地域で
自発的に防犯活動

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合	55.1%	→	→

◆成果指標選択理由

指標 01

市民意識調査により交通、防犯、衛生面など市民が生活するうえで安全で衛生的な生活環境が整っていると思う市民割合で見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□交通事故発生件数	564件	530件
□犯罪発生件数	2,395件	2,300件
□環境に対する苦情件数	191件	160件

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

040101	交通安全の推進
	対象 幼児・小、中、高校生・高齢者・運転免許所持者・家庭
交通安全活動を推進することで、市民が交通规则を身につけて行動します。また運転者が安全に走行することで交通事故を減らします。	

040102	防犯活動の推進
	対象 市民・自治会・防犯関係団体
家庭や地域で防犯活動を自発的に行うと共に、各種団体が住民に対し犯罪防止に対する啓発活動を行うことで、犯罪を未然に防止します。	

040103	市民相談の充実
	対象 市民
市民が悩み事を相談できる「場」を設け、気軽に生活のことで相談ができるようにします。	

040104	快適で安らげる生活環境の充実
	対象 市民・市内土地所有者
墓地の整備、ペット飼育に関して啓発活動を行うことによって、まちの衛生・安全・美観を損なうことを防止し、市民が住みやすいまちにします。	

040105	消費生活の安定
	対象 市民
苦情相談や消費者ネットワークを充実させ、市民が正しい知識をもつことによって安心して買物ができるようにし、被害にあわないようにします。	

施策 0402 交通環境の充実

■施策をとりまく環境の変化

市街地の拡大や生活圏の広域化に伴い市民の活動範囲が広がっています。また、高齢者や障がい者が移動しやすいようにする必要性も高まり、広域幹線道路の整備・南北交通連絡網の充実や、駅・駅周辺のバリアフリー化など安全で快適に利用できる道路環境づくりが求められています。

■施策の目的

交通環境を充実させることにより、市内・市外の移動が円滑になり、市民の安全性・利便性・快適性が高まります。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	市内への移動に困らない市民割合	78.4%	→	↗
02	市外への移動に困らない市民割合	77.5%	→	↗

◆成果指標選択理由

指標 01

市内においてバスなどの公共交通機関や道路環境が充実しているかどうかを移動に困らないと感じる市民の割合から見る指標です。

指標 02

市外へ出るための交通手段が充実しているかどうかを移動に困らないと感じる市民の割合から見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 （現状値）	平成20年度目標
□雪対策が充実していると思う市民割合	45.2%	→
□交通手段が充実していると思う市民割合	74.4%	→

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

040201	安全で快適な道路づくり
	対象 市民・道路利用者
道路を整備・改修することにより、市民が安全で快適に通行できるようにします。また、放置自転車対策などを行うことにより人に優しい歩行者空間を確保します。	

040202	克雪による道路環境の整備
	対象 市民・道路利用者
除排雪事業・融雪施設設置資金の融資を行い、行政と市民が協働で冬期間の交通を確保し、快適な冬の生活を確保します。	

040203	移動交通手段の充実
	対象 市民・既存バス事業者・新規参入交通事業者
住居地域における移動交通手段を充実させることで市民の移動を便利にします。	

施策 0403 防災の強化・充実

■ 施策をとりまく環境の変化

災害はいつ襲ってくるか予知が困難です。これまで、当市の災害は、主に河川氾濫によるものですが、近年の都市化の進展により市街地の浸水被害が増える傾向にあります。従来の河川改修や内水排除対策に加え、千歳川流域対策や石狩川水系の総合的な治水対策が求められています。また、阪神淡路大地震を契機に、地震対策の関心が高まっており、地域住民と行政が一体となった地震に強いまちづくりが必要になっています。

■ 施策の目的

行政・市民・関係機関が一体となって防災体制を構築し、災害に強いまちづくりを進め、各種災害から市民の生命と財産を守り、被害を最小限にします。

■ 施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	災害による被害額	0円	→	→
02	災害対策が充実し安心と思う市民割合	42.4%	↗	↗

◆ 成果指標選択理由

指標 01

災害に強いまちづくりの達成度を災害による被害額から見る指標です。

指標 02

市民意識調査により災害対策が充実していると思う市民の割合から見る指標です。

■ 施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□ 家庭における防災対策実践の割合	39.8%	↗
□ 家庭における生活物資の確保率	27.7%	↗

防災意識を高めよう

■ 施策を実現する手段（基本事業の構成）

040301	治水対策の強化
	対象 江別市内の河川・内水排除施設
市内の河川の改修・補修を行い、水害の起きにくい河川にします。また、内水による湛水被害を縮小するための施設整備を行い、危険な箇所を減らし市民が安全に暮らせるようにします。	

040302	耐震施設の整備
	対象 公共施設
公共施設の耐震化等、地震に強い施設整備を進めることにより、地震による被害を最小限にとどめるようにします。	

040303	防災意識の醸成
	対象 市民・自治会
避難場所の周知や防災訓練を行うことにより、市民の防災に対する意識を高めるとともに、自らの命は自ら守ることを基本に地域での連携を緊密にし災害時に迅速な行動ができるようにします。	

040304	防災機能の強化
	対象 市民
避難場所を確保し、備蓄を行うことで災害時に市民が安全に避難ができ、生命が維持できるようにします。	

施策 0404 市街地整備の充実

■施策をとりまく環境の変化

これまでの人口増に伴う市街地の外延化などにより、市街地の空洞化や既成市街地の土地利用が進まないなどが顕著になっています。市街地に求められる多様な機能性と安全性の確保に向け、既成市街地の質の向上や多様な都市機能が集積し、誰もが容易に都市的サービスを楽しむ市街地の再生が必要となっています。特に、駅周辺の再整備と改善により機能的で魅力的なまちづくりが求められています。

■施策の目的

機能的で魅力的な市街地やまち並みを形成し、市民が暮らしやすいまちづくりを目指します。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	機能的な「まち」と感じる市民割合	58.9%		

◆成果指標選択理由

指標 01

まち並みがわかりやすく計画的につくられているかどうかを、機能的な「まち」と感じる市民の割合から見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□都心機能の市民満足度	47.4%	
□憩の場としての公園満足度	69.1%	
□駅及び駅周辺においてバリアフリー等利便性の向上が進んでいると感じる市民割合	70.6%	

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

040401	江別の顔づくり
	対象 都心地区
都心地区を整備し、市街地の整備充実を図り、快適な都心(中心市街地)を形成します。	

040402	計画的な土地利用の推進
	対象 市街地
計画的な市街地整備を進めることで、市街地の土地利用率が上がります。また、産業振興等の拠点と位置付けられていたIC周辺等の市街地外縁部については、その利点を活かした戦略的活用を図ります。	

040403	公園管理の充実
	対象 市民・公園
市民と行政の協働により公園をリニューアルし運営します。また、安全で憩える公園を増加させます。	

040404	人にやさしく、わかりやすい街並みづくり
	対象 市街地・駅及び駅周辺
美しい都市景観づくりや公共施設のバリアフリー化を進め、人にやさしい施設、わかりやすい、景観に配慮した街並みをつくらします。また、駅及び駅周辺の整備を充実し利便性の高い機能的なまちをつくらします。	

施策 0405 上下水道の整備

■施策をとりまく環境の変化

環境問題への関心の高まりに伴い、上下水道に対する市民ニーズはますます多様化してきています。水源の確保や施設の改善により、より安全で良質な水を供給するとともに、下水の処理を適正に行うことにより、環境負荷を低減することが求められています。

■施策の目的

上下水道を整備することにより、市民に安心で良質な水道水を安定供給でき、汚水・雨水の適正な処理を行い、安全で快適な市民生活を目指します。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	配水区域ブロック化率(上水道)	79.6%	91.0%	98.0%
02	汚水・雨水等が適正に処理され衛生的で安全な生活環境が確保されていると思う市民割合(下水道)	89.7%	→	→

◆成果指標選択理由

指標 01

配水管理システム構築の達成度を、事故や工事に伴う断水時の影響範囲を狭くするために事業計画に基づいてブロック化が行われた区域の割合から見る指標です。このことにより市民に安定して水道水が供給できる状況にあるかどうかわかります。

指標 02

下水道の汚水・雨水の処理が適正に行われ、安全で快適な生活ができているかどうかを見る指標です。適正な下水処理を行うことにより、衛生的な生活環境の確保を図ります。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□漏水発生件数	5件	0件
□水洗化率	99.2%	99.4%

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

040501	水源の確保
	対象 取得水利権
ダム建設の参画や水道の拡張を図ることにより、市民の生活に不可欠な水源を確保します。	

040502	安全で良質な水道水の安定供給
	対象 市民
配水区域ブロック化事業計画による管理システムの充実や浄水施設の整備を進めることにより、市民がいつでも安心して飲める水道水を安定して供給できるようにします。	

040503	汚水・雨水排除の推進
	対象 市街化区域内住民・下水管渠
水洗化を進め、市民がより快適な生活ができるようにします。また雨水管渠の布設により、区域内浸水を防除し、より安全な生活ができるようにします。	

040504	浄化機能の充実
	対象 汚水
浄化センターの維持管理を行うことにより、汚水を適切に処理した状態で石狩川に放流することが出来ます。	

施策 0406 電子情報化の推進

■施策をとりまく環境の変化

情報技術(IT)の革新によって、社会システムが大きく変化しています。市民と行政とをネットワークで結ぶことで新たなサービスが提供され市民生活は便利になりますが、反対に情報公開に対する要望やセキュリティ、デジタル・デバイド(情報格差)などの問題も顕在化しており、その対策が求められています。

■施策の目的

インターネットなどを利用して各種行政手続きの電子化を実現することによって、市民生活が便利になり、また効率的な行政事務が行われます。

■施策の目的達成度に関する指標(施策成果指標)

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	情報技術(IT)によって市民サービスが向上したと思う市民割合	74.4%	→	↗
02	情報化による事務効率化件数	46件	49件	↗

◆成果指標選択理由

指標 01

市民意識調査により、行政手続きや情報提供などがIT化されたことによって、市民サービスが向上したと思う市民割合から見る指標です。

指標 02

情報リテラシーの向上による情報技術の活用や達成度を、情報化によって効率化することのできた事務の件数から見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□行政手続きの電子化件数	8件	15件
□インターネットが利用できる市民割合	57.4%	↗

講習会・研修の
推進

■施策を実現する手段(基本事業の構成)

040601	行政手続きの電子化
	対象 市民・行政
ネットワークシステムを構築し、各種手続きを電子化することによって、市民に便利なサービスが提供でき、業務の効率化も期待できます。	

040602	情報セキュリティの確立
	対象 行政
情報セキュリティを確立することで、市が保有する情報の漏洩を防ぐとともに、コンピューターウイルスや不正アクセス等によるシステムダウンなどの物理的障害が発生しないようにします。	

040603	ネットワーク基盤及び設備機器の整備
	対象 行政
公共施設のネットワーク拡充、庁内における情報システム・情報機器などの充実によって、市民と行政とを結ぶネットワーク網を構築します。	

040604	情報の活用及び利用技術の向上
	対象 市民・行政
講習会や研修を通じて情報化社会に必要な情報・技術を習得することにより、市民や職員の情報リテラシーが向上し、インターネットなどを不都合なく利用できるようになります。	

施策 0407 消防・救急の充実

■施策をとりまく環境の変化

都市化の進展に伴い、高層建築物等からの搬出、重症患者のヘリ搬送など、高度救命処置を必要とする患者並びに単身高齢者世帯が増加しています。このような複雑多様化する世帯環境の中で、応急手当や防火に対する意識や認識を高め「いざ」という時に行動ができる市民が求められています。

■施策の目的

行政・市民・関係機関が一体となって応急手当や防火の習熟度を高め、災害、火災などの「いざ」という時に応急手当や消火活動を行い災害の最小化に努め、市民の生命と財産を守ります。

■施策の目的達成度に関する指標（施策成果指標）

番号	成果指標名	現状値 平成14年度	前期目標値 平成20年度	後期目標値 平成25年度
01	緊急事態への満足度	92.4%	→	→

◆成果指標選択理由

指標 01

単身高齢者世帯及び高度救命処置を必要とする患者が増加する中で、消防・救急に対し「いざ」という時の対応に満足しているかどうかを見る指標です。

■施策に関するポイントとなる基本事業成果指標

基本事業成果指標名	平成14年度 (現状値)	平成20年度目標
□消火器を常備し、取り扱いのできる市民割合	69.0%	→
□救急救命士の処置による救命率 (1ヶ月の生存率)	0%	↗

■施策を実現する手段（基本事業の構成）

040701	防火機能の充実と啓発
	対象 市民
市民が防火・消火に対する正しい知識を身につけることにより、「いざ」という災害時に迅速に行動し、被害を最小限にします。	

040702	救急体制の充実
	対象 市民・行政
緊急時に、すぐに救急車が現場に来て、救急救命活動が行われるような救急体制の充実が図られます。	

